

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	新潟内野山手地点建設工事 西区 内野山手二丁目8475-1 第一種中高層住居専 事務所, 集合住宅, 2018年2月 予定 1,179.31 m ² 673.15 m ² 2,752.07 m ² 地上5F RC造 実施設計段階評価 2017年3月13日	
---	---	--

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{48.2}{44.9} = 1.0$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.0		バリアフリー	3.0
			維持管理	3.0
			更新性	3.1
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.2		耐震・免震	3.0
			信頼性	3.4
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	2.8		建物の熱負荷抑制	3.0
			自然エネルギー利用	2.5
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.3		節水	4.0
			リサイクル材の使用	5.0
			再利用可能性向上	4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	2.0		生物環境の保全・創出	1.0
			敷地内温熱環境の向上	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	2.5		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮, 快適性の向上	2.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

資源循環への取組み
資源の再利用化を促進するために材料や工法について配慮し選定した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE®新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)

評価結果内訳

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	新潟内野山手地点建設工事	階数	地上5F
建設地	新潟県新潟市西区	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	88人
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	XXX時間/年
建物用途	事務所, 集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年2月 予定	評価の実施日	2017年3月13日
敷地面積	1,179 m ²	作成者	瀧口 吉男
建築面積	673 m ²	確認日	
延床面積	2,752 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 78%
③上記+②以外の 78%
④上記+ 78%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合 計画建物は、比較的海岸沿いに近い新潟大学近辺に位置している。その為、建物の躯体と外壁仕上の耐久性に考慮した計画とした。	その他 断熱型枠を採用することで合板型枠を削減し温暖化抑制に努めた。	
Q1 室内環境 居室に大きな開口部を設けることによって十分な自然光を取り入れるように配慮した。住戸内の仕上にはF☆☆☆☆を使用し、室内環境に対する配慮をした。	Q2 サービス性能 配管材料に耐用年数の長いものを使用し更新間隔の長期化に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 奇抜な色彩は使用せずシンプルな色合いの外壁とし景観に配慮した。
LR1 エネルギー 効率の高い設備機器及び照明器具を使用することで消費エネルギーの削減に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない材料を使用し、解体時の環境負荷削減に配慮した。	LR3 敷地外環境 オール電化とし排ガス抑制をすることで、周辺環境に配慮した計画とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される